

時間割コード	G1D11121	開講年度	2026				
授業題目	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (A) (初級)					担当教員	長谷部 めぐみ
英文授業名	Academic English Phase I (A)						
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・4時限	対象学生	T I (14)
講義室	共通教育 3 3 講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学D P						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力					⇔	大学での学修の土台となるAcademic Skillsを使えるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	上述の目標を達成するために、Academic Reading及びAcademic Writingの演習を行う。 ・ Academic Reading: アカデミックレベルの語彙を修得し、文法や構文の正しい理解を基に学術的な英文を読解する。 ・ Academic Writing: 文法・語法、コロケーションの演習、アカデミックレベルの語彙の確認、自然な英語表現を身につけるための演習を行いながら、正確かつ的確な英文を書く。						
(5)授業のキーワード	Academic Reading Academic Writing Natural Expression						
(6)授業計画	① Introduction, Self-Introduction ② 確認テスト, Unit 2 (Bulgaria), Chapter 1 (Self-Introduction), 過去時制 ③ 確認テスト, Unit 2 (Bulgaria), Chapter 1 (Self-Introduction), 完了形 ④ 確認テスト, Unit 3 (India), Chapter 1 (Self-Introduction), 進行形 ⑤ 確認テスト, Unit 3 (India), Chapter 2 (Apologies), 助動詞 ⑥ 確認テスト, Unit 4 (Thailand), Chapter 2 (Apologies), 分詞 ⑦ 確認テスト, Unit 4 (Thailand), Chapter 2 (Apologies), 不定詞 ⑧ 確認テスト, Unit 5 (Czech Republic), Chapter 3 (Reports), 代名詞 ⑨ 確認テスト, Unit 5 (Czech Republic), Chapter 3 (Reports), 比較 ⑩ 確認テスト, Unit 6 (the U.K.), Chapter 3 (Reports), 受動態 ⑪ 確認テスト, Unit 6 (the U.K.), Chapter 4 (Requests), 関係詞 ⑫ 確認テスト, Unit 7 (Turkey), Chapter 4 (Requests), 仮定法 ⑬ 確認テスト, Unit 7 (Turkey), Chapter 4 (Requests), 接続詞 ⑭ 確認テスト, Unit 8 (Brazil), Chapter 6 (Proposals), 倒置 ⑮ 確認テスト, Unit 8 (Brazil), Chapter 6 (Proposals), 連結語, 授業アンケート ⑯ 期末試験						
(7)成績評価の方法	・ 授業課題 (20%) ・ 事前・事後課題 (20%) ・ 確認テスト (20%) ・ 期末試験 (40%) ----- ・ 授業課題：授業内に実施する課題 ・ 事前課題：教科書の問題や文法確認の課題 ・ 事後課題：授業内容の確認課題、語彙を増やすための課題 ・ 確認テスト：各授業の習熟度を測るテスト ・ 期末試験：授業内容と同レベルの実力問題 -----						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」 とみなす。						
(9)事前事後学習の内容	・ この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・ 事前事後課題は、eALPSを用いて行います。eALPSの指示に従って提出してください。各課題の内容は以下の通りです。 ・ 事前課題は、【翌週の授業に向けての予習】です。 ・ 事後課題は、【授業内容を確認する課題】と、Writingに向けて【語彙を増やす課題】です。						
(10)履修上の注意	・ この授業の達成目標に到達するためには、授業への積極的な参加と課題への意欲的な取り組みが必要です。 ・ 授業課題はeALPSで提出してもらいます。教科書とノートパソコン（またはタブレット）を持参して、授業に参加してください。 ・ 授業の出席確認は、QRコードの読み取り（スマートフォン等持参）と授業課題の提出の両方で行いま						

(10)履修上の注意	す。 ・授業開始20分後以降は、欠席扱いとします。 ・再履修を希望する学生は、初回の授業までに連絡をしてください。連絡をしない場合、受講許可できない場合があります。
(11)質問,相談への対応	メールにて質問や相談に対応する。 メールアドレス：hmegu3@shinshu-u.ac.jp
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（評点は0点）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	テキストは、後期も同じものを使用します。 ・八木橋宏勇（他3名），English Template Writing, 978-4-7647-4202-4, 金星堂, 2,530円 ・Arnold Arao（他3名），Enlightening Cultures, 978-4-523-17983-2, 南雲堂, 2,420円
【参考書】	適宜、紹介します。